

1. 5 COC+参加協働機関から見た本事業の取り組みに対する評価

(1) 参加自治体からの事業満足度評価

奈良女子大学から参加自治体である奈良県・下市町・野迫川村・十津川村の4自治体にCOE+事業の取り組みに対する満足度調査を行った。(令和2年1月実施)

調査結果は、以下のとおりである。

	奈良県	下市町	野迫川村	十津川村
総合評価	A	A	A	A
教育支援活動	A	A	A	A
就職支援活動	A	A	B	B

(A) 大変評価する (B) 評価する (C) あまり評価しない (D) 評価しない

各自治体からの奈良女子大学に向けたコメントは以下のとおりである。

奈良県	<p>◎教育面及び就職支援面双方において、奈良県、県内企業と大学との双方向のネットワークが確立されたことからA評価とした。特に、教育面においては、地域志向科目『奈良』女子大学入門にて奈良県雇用政策課ならびに奈良県ならびの観光力向上課から県の雇用政策・観光政策を幅広く伝えた。また、「なら学プラス」においては、奈良県女性活躍推進課、奈良県農林部、奈良県薬事研究センター、奈良県森林技術センター等から職員を派遣して受講生に様々な角度から奈良への関心を高めることに寄与した。COE+事業終了後も、産官学が連携して、多様な地域人材の育成、若者の地元定着を期待する。</p> <p>(以下、担当部署からの意見)</p> <p>○雇用政策課(含む奈良県奈良しごとiセンター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業(『奈良』女子大学入門)にて奈良県の雇用政策を紹介し、奈良県優良企業ガイドブック150選の配布ならびに県内企業紹介を実施した。 ・雇用政策課が主体となりCOE+3校合同県内企業6社への見学会を開催した。 ・奈良県しごとiセンターにおいては、9月に奈良女子大学生を対象に「ならジョブカフェセミナー」を開催した。6月以降、「ならで就カツ」相談コーナーを毎月2回開催することにより、継続的に学生の就活マッチングを実施している。 <p>○女性活躍推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業「なら学プラス」にて、奈良県における女性の就業の現状や県の取り組み等に関する講義を実施。女子大学生に対して、将来のキャリアプラン・ライフプランを描く際に、就労継続を意識することの重要性を啓発する機会となった。 <p>○奈良県教育委員会事務局人権・地域教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野迫川村奈良女塾を契機に広めることのできた県内大学生による県南部東部への学習等支援事業を昨年度に引き続き開催した。今年度は、県内6大学のボランティア大学生が小・中学生向けに学習支援を実施した。日頃、大学生と触れる機会の少ないことから、小・中学生の満足度は高い。本事業に参加する大
-----	--

	学生自身が子どもたちから学び、地域を知る貴重な機会であり、大学生への教育効果も高い。
下市町	<p>アクティビティセンターを利用して、PBL 授業の他、夏休みに下市町小中学生への学習支援事業が開催された。</p> <p>地域志向科目「なら学+（プラス）」授業において下市町職員が講師として下市町での地方創生の取り組み等を発表、学生に地域への関心を向けることが出来た。また、PBL 授業「コミュニティリサーチ、コミュニティアクション」を今年度も継続して実施されたことは大変評価できる。学生と地域住民との交流を深める授業は次年度以降も続けていただきたい。就職支援活動としては、8 月に実施された留学生のための下市町内製材所見学、特産品である箸づくり体験にも協力、留学生に対し地域産業・地域文化に対する関心の向上に寄与した。県内自治体魅力発見フェスタ 2019 に参加し、行政の立場から下市町を広く学生に知ってもらうこともできた。授業や魅力発見フェスタを通じて、奈良女子大学生が就職選考を受け、内定が決まった学生 2 名も生まれたことは COC+ 参加自治体としても大変意義深いものであった。</p>
野迫川村	<p>少子高齢化が進む本村において、奈良女塾のような大学生が勉強のサポートや、一緒にレクリエーションをしていただく事は、児童生徒にとっては村外者との貴重な交流の場であり、実際に大学生と触れあう中で自分の将来を考える契機になり、学習意欲の向上など良い機会であった。</p>
十津川村	<p>PBL 教育科目実践の取り組みでの活動により地域住民が生き生きと交流する機会を得られるとともに、地域のため大学生に活動してもらえることが地域住民の励みにもつながっているため、COC+事業終了後も継続して連携を続けていきたい。林業実習により村・山・林業の魅力を経験していただき、実習により感じた木を使うことの必要性を「鹿と木マルシェ」で広く発信してもらうことができたと思う。今後も村の林業振興につながる林業PRをお願いしたい。また、村の魅力を感じてもらい、移住定住につながることを大いに期待したい。</p>

(2) 奈良経済同友会からの事業満足度評価

奈良女子大学から COC+参加団体である奈良経済同友会に対して、COC+事業の取り組みに対する満足度調査を行った。(令和2年1月実施)

調査結果は、総合評価、教育支援活動、就職支援活動とも「大変評価する」A 評価であった。なお、いただいたコメントは以下のとおりである。

コメント	<p>教育面においては、地域志向科目の全学必修化の完了、地域志向科目「奈良女子大学入門」、「なら学+（プラス）」授業における奈良県内企業経営者による講義は、学生の県内企業への関心だけでなく地場産業、地域との相互交流に大きく寄与した。また、新たにアントレプレナーシップ醸成の授業を開始して、ビジネスプランコンテストでの入賞など学生に向けた起業チャレンジ精神の涵養など高く評価できる。就職面では、当会においても会員企業へのバスによる3校合同会社見学会を実施し協力させていただいた。</p> <p>県外出身学生が多いなか、インターンシップ参加者学生も KPI を達成されて</p>
------	---

	<p>いる他、県内企業リーフレットの配布や県内企業・県内自治体魅力発見フェスタ、コーディネーターとの帯同訪問による県内就職者増加への支援活動などにも積極的に取り組まれている。</p> <p>引き続き、若者の地元定着に向けた活動に期待している。</p>
--	---

(3) 奈良工業高等専門学校に対する事業満足度評価

(令和2年1月実施、回答率100%)

奈良工業高等専門学校から参加企業にアンケート調査を行い、令和元年度の本校COC+事業の取り組みに対し12事業協働機関・部署から回答を得た。

① 令和元年度 奈良高専COC+事業の総合評価

[A] 大変評価する ⇒ 8機関

[B] 評価する ⇒ 4機関

[C] あまり評価しない ⇒ 0機関

[D] 評価しない ⇒ 0機関

※回答協働機関における好評価獲得率 ([A] + [B]) : 100%

回答を得た全ての協働機関・部署から好評価を得ることができ、最終年度となる令和元年度の本校COC+事業が事業協働機関に確かな評価を得ていることを示している。

② 本校の地域創生教育に対する評価

[A] 大変評価する ⇒ 8機関

[B] 評価する ⇒ 4機関

[C] あまり評価しない ⇒ 0機関

[D] 評価しない ⇒ 0機関

※回答協働機関における好評価獲得率 ([A] + [B]) : 100%

<自由記入欄でのコメント>

- ・地域創生教育を通じて奈良県に愛着を持ち、将来、奈良県で活躍されると期待する。
- ・学生が地域、世界に求められるものを知ることは、学生・社会双方にとってより良い未来につながる。
- ・学年進行に沿った教育プログラムにより、勉強に忙しい学生の記憶にも残る。
- ・多くの県内企業等と講義に係る打合せを実施しており、内容の充実が図られている。
- ・奈良県だけでなく、県内の市町村とも連携し地域創生に効果的に取り組んでいる。

③ 県内雇用促進、人材定着に向けた取り組みに対する評価

[A] 大変評価する ⇒ 7機関

[B] 評価する ⇒ 5機関

[C] あまり評価しない ⇒ 0機関

[D] 評価しない ⇒ 0機関

※回答協働機関における好評価獲得率 ([A] + [B]) : 100%

<自由記入欄でのコメント>

- ・県内再就職支援で実績があがっていることは大変興味深い。今後も大いに期待する。
- ・OB・OG人材と県内企業とのマッチングの推進をお願いします。

- ・イノベーションコンソーシアムの総会に約 20 名の学生・卒業生が参加しており、貴重なマッチングの機会と言える。
- ・大手企業の少ない奈良県ではあるが、まず第一歩として交流会等を通じて奈良高専教員に多くの企業を知ってもらえたことに感謝する。
- ・技術系のものづくりに熱心な学生が多く、その力を奈良県でも期待している。
- ・引き続き、県内再就職支援の取り組み継続をお願いする。

④ 本校の地域創生研究開発（研究クラスター）等に対する評価

- 〔A〕 大変評価する ⇒ 8 機関
- 〔B〕 評価する ⇒ 4 機関
- 〔C〕 あまり評価しない ⇒ 0 機関
- 〔D〕 評価しない ⇒ 0 機関

※回答協働機関における好評価獲得率（〔A〕 + 〔B〕）：100%

<自由記入欄でのコメント>

- ・専門性をもって取り組まれている点が良い。工業の幅広い可能性を感じる。
- ・県内企業による研究開発への支援が広がり、優良企業がより多く創出されるよう引き続き支援をお願いする。
- ・学生時代から社会の課題解決を意識して研究することは、人材育成という点でも評価できる。5つの研究クラスターごとに特色ある研究開発が進められている。

⑤ 本校 COC+事業全般を通じての主なご意見等

- ・地域創生科目の「COC+政治経済」では協力いただいた県内企業にも大変好評であった。引き続き、産学金連携の推進をお願いする。
- ・今後も COC+事業発展のため尽力をお願いする。
- ・地域に目を向けるには、中学・高校など若いうちに地域をよく知ることが大切であり、効果がすぐに出るものや何年もたって出るものもある。今年度でプロジェクトが終了とのことですが、継続できるものについては引き続き活動をお願いする。
- ・地方創生教育・研究は、若い学生が将来の夢・目標について考える貴重な機会であり、必ず人の育成に役立つと思う。今後も学生に対し、座学の他に社会を見る、聞く機会を積極的に提供いただきたい。
- ・県内企業との共同研究、学生の就職支援活動に尽力いただき感謝いたします。今後も奈良高専の取り組みに対し連携・協働を図ってまいりたい。
- ・プロジェクトは本年度で終了とのことですが、人材は企業の力であり、若者が奈良に根付くよう今後も地域創生活動を継続していただきたい。また、奈良高専の研究活動にも協力していきたい。

※ 本校のこれまでの COC+活動に対し高い関心と評価を得ると共に、今後の本活動継続への強い期待が寄せられた。「教育」、「研究」、「雇用促進、人材定着」の各施策において着実に成果をあげると共に、その活動が学内外で浸透し、事業協働機関から高い評価をいただけたことを励みに、今後も本事業の継続に取り組んでまいります。

参考 COC+活動の5年間の取り組み

(1) シンポジウム

第1回 (H28.3.13)

キックオフシンポジウム

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」
キックオフシンポジウム

主催：奈良女子大学 共催：奈良工業高等専門学校・奈良県立大学

日時：2016年3月13日(日)
13:00～16:00

会場：橿原ロイヤルホテル 「明日香・清原」

参加費：無料(定員100名)
※事前申込
※当日会場受付
※お申し込み先までご連絡ください

お問い合わせ先
奈良女子大学 地域連携推進センター
〒742-0293 奈良県橿原市大和町1-1
TEL: 0742-22-2999 FAX: 0742-22-2993
E-mail: coc@nuc.ac.jp



第2回 (H29.3.18)

奈良の魅力を知り、奈良を支える人材育成の実践的取り組み

奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学
「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」シンポジウム2017
～奈良の魅力を知り、奈良を支える人材育成の実践的取組～

共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト

奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学は、奈良県に於けるCOC+推進校として地方創生推進事業(COC+)に参画し、人材育成の観点から、地方創生推進事業(COC+)の推進を目的として、COC+推進校(COC+推進校)として、4年間の取り組みを実施し、その成果を発表いたします。

【シンポジウム】
13:00～14:00 開会式
14:00～15:00 基調講演 共創郷育「やまと」再構築プロジェクト
15:00～16:00 自由討議 奈良の魅力を知り、奈良を支える人材育成の実践的取組

【資料交換会】
15:15～16:30 資料交換会(抽選、奈良女子大学ラウンジ) 参加費 2,000円

【日時】 2017年3月18日(土)
13:00～16:30(受付開始 12:30～)

【会場】 奈良女子大学 記念館

参加費無料(定員100名)
※事前申込
※当日会場受付

お問い合わせ先
奈良女子大学 地域連携推進センター
〒742-0293 奈良県橿原市大和町1-1
TEL: 0742-22-2999 FAX: 0742-22-2993
E-mail: coc@nuc.ac.jp



第3回 (H30.3.5)

奈良からの刺激、奈良への発信

奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学
「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」シンポジウム2018

共創郷育：「やまと」再構築プロジェクト
～奈良からの刺激、奈良への発信～

奈良女子大学・奈良工業高等専門学校・奈良県立大学は、奈良県に於けるCOC+推進校として地方創生推進事業(COC+)に参画し、人材育成の観点から、地方創生推進事業(COC+)の推進を目的として、COC+推進校(COC+推進校)として、4年間の取り組みを実施し、その成果を発表いたします。

日時：平成30年3月5日(日)
13:00～16:30(受付開始 12:30～)

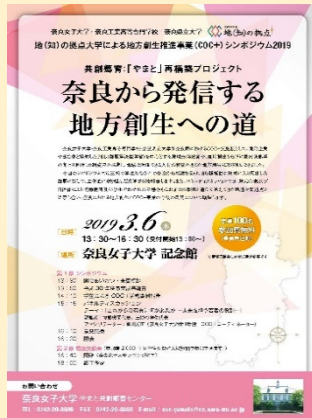
会場：奈良女子大学 記念館

参加費無料(定員100名)
※事前申込
※当日会場受付

お問い合わせ先
奈良女子大学 地域連携推進センター
〒742-0293 奈良県橿原市大和町1-1
TEL: 0742-22-2999 FAX: 0742-22-2993
E-mail: coc@nuc.ac.jp



第4回 (H31.3.6)
奈良から発信する地方創生への道



第5回 (R1.12.5)
奈良の地方創生 その先へ



(2) 評価委員会ならびに事業協議会の開催

	評価委員会	事業協議会
平成27年度	—	平成27年12月18日(金)
平成28年度	平成28年6月27日(月)	平成28年7月14日(木)
平成29年度	平成29年6月30日(金)	平成29年7月11日(火)
平成30年度	平成30年6月29日(金)	平成30年7月31日(火)
令和元年度	令和元年7月2日(火)	令和元年7月11日(木)

(3) 3校合同活動事例

開催日	訪問先	協力(主催)	参加人数
平成 29 年 8 月 8 日	ならやま研究パーク ①(株)ATOUN ②ダイワハウス工業(株) ③アイコム(株) ④南都経済研究所	—	27 名
平成 30 年 2 月 19 日 平成 30 年 2 月 20 日	1 日目 ①DMG 森精機(株) ②三和澱粉工業(株) ③(株)イムラ封筒 ④佐藤薬品工業(株) 2 日目 ①大光宣伝(株) ②小山(株) ③(株)大和農園ホールディングス ④岡村印刷工業(株)	奈良経済同友会 (株)南都銀行	54 名
平成 31 年 2 月 15 日	A コース ①(株)品川工業所 ②上六印刷(株) ③(株)フジフレックス B コース ①辰巳電子工業(株) ②(株)藤田油機 ③ケイミュー(株)	奈良県雇用政策課	31 名
令和元年 9 月 26 日	①ディライト(株) ②DMG 森精機(株) ③名阪食品(株)	奈良経済同友会 (株)南都銀行	18 名
令和 2 年 2 月 14 日	A コース ①(株)伊藤金属製作所 ②(株)ヒラノテクシード ③ニチアス(株) B コース ①三笠産業(株) ②西垣靴下(株) ③梅乃宿酒造(株)	奈良県雇用政策課	28 名

(4) 参加協働機関から見た本事業の満足度調査 (総合評価)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
奈良県	B	A	A	A	A
下市町	B	A	B	A	A
十津川村	B	A	A	A	A
野迫川村	B	A	A	A	A
奈良経済同友会	B	A	A	A	A